

「河川技術・流域管理分野 指定型課題」
(令和3年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
越水浸食に対するPC矢板を用いた一部自立型による堤防補強の有効性評価技術の研究	株式会社富士ピー・エ ス 正木 守	B
<p><研究概要> PC 矢板を用いた一部自立型の構造を対象として、越流水による矢板背後の洗掘量を推定可能な解析手法の確立、及び矢板の安定性に与える影響等の要素を再現できる流体・地盤・構造連成解析技術の開発し、あわせて、PC 矢板の効果について数値解析によって実証する。</p>		
<p><事後評価指摘事項> 実用可能なレベルの計算モデルが提案された。土木研究所の実験結果等との比較検証や、ベンチマークテストによるモデルの妥当性検証が望まれる。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとは言い難い。